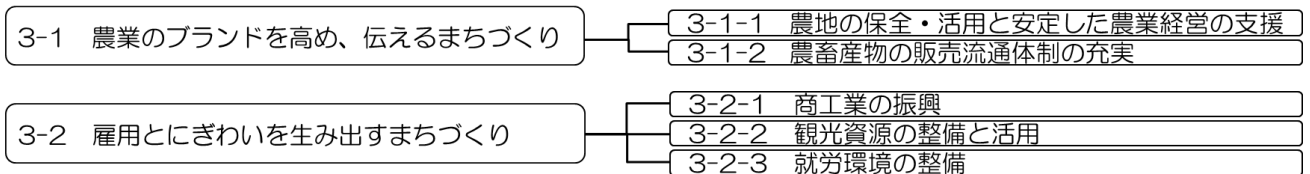


## 【まちのイメージ3】

# 活力とにぎわいにあふれるまち

## （産業振興）



## 【まちのイメージ3】 活力とにぎわいにあふれるまち（産業振興）

### 3-1 農業のブランドを高め、伝えるまちづくり

#### 3-1-1 農地の保全・活用と安定した農業経営の支援

##### 目指す姿

農地の保全と有効利用が進むとともに、担い手への農地の集積などが進んでおり、時代の変化に柔軟に対応した安定的、効率的な農業経営が行われています。

### まちづくり指標

指標名	現状値 (平成 28 年度)	目標値 (平成 34 年度)
<b>耕作放棄率</b>	<b>2.9%</b>	<b>3.7%</b>
市内全農地面積のうち、耕作放棄の状態となった農地面積の割合であり、農地の保全と有効活用が行われているかを測る指標です。なお、耕作放棄率については、平成 24 年度から 28 年度の 5 年間に於いて、平均 0.25 ポイント増加する傾向にありましたが、本計画の計画期間においては、その増加率を半減させ 0.125 ポイントとし、増加率を抑制する目標値を設定しています。		
<b>農業法人数</b>	<b>56法人</b>	<b>68法人</b>
農業を営む法人の数であり、農地の保全・活用と安定した農業経営の支援が行われているかを測る指標です。		

### 現状と課題

#### 【施策を取り巻く社会状況】

農業を取り巻く全国的な環境を見ると、産業構造の変化による農業者の所得低迷、高齢化や担い手不足による農業就業人口の減少や耕作放棄地の増加などが急速に進んでおり、農業者にとって厳しい状況が続いています。

#### 【深谷市の状況】

- 1 効率的で安定した農業経営を促進するため、農地の集積・集約、農業生産基盤の整備を推進していますが、農業者の高齢化や担い手不足、耕作放棄地の増加、農業水利施設の老朽化などが進んでおり、その対応が求められています。
- 2 農業者の高齢化や担い手不足、農畜産物の輸入自由化など農業を取り巻く環境が変化する中で、意欲と能力を備えた農業の担い手を確保し育成するとともに、農業経営の安定化に向けた効率化や高度化の取り組みが必要となっています。

## 取組方針

### 1 農地の保全と有効活用に取り組みます

計画的なほ場整備を促進し、優良農地の保全を図るとともに、農業用排水路や道路などの農業生産基盤を整備、更新するほか、農業用ため池の耐震化対策などの整備を推進します。また、農地中間管理事業による、規模拡大などを行う担い手への農地の貸し付けや、耕作放棄地の発生防止及び解消のため、担い手による農地の集積・集約を促進します。

#### ■主な事業■

農業農村基盤整備推進事業、農地管理事業、農業委員会運営事務、遊休農地対策事業、遊休農地解消事業

### 2 安定した農業経営を支援します

新規就農希望者の速やかな就農を支援し、活力ある農業の振興を図ります。また、収益性の高い作物や農業技術、経営改善方法の情報提供を行うなど、農業経営の安定化のための各種支援を行います。

#### ■主な事業■

農業施策推進事業、農業経営安定化促進事業

## 関連する個別計画

深谷市産業振興計画

## 【まちのイメージ3】活力とにぎわいにあふれるまち（産業振興）

### 3-1 農業のブランドを高め、伝えるまちづくり

#### 3-1-2 農畜産物の販売流通体制の充実

##### 目指す姿

市内農畜産物の付加価値向上の取組により、深谷産ブランドに対する消費者のイメージが向上し、活気のある農業経営が行われています。また、市内で身近に農業に触れる機会が増え、新鮮で安全・安心な地元の農畜産物を提供しています。

### まちづくり指標

指標名	現状値 (平成 28 年度)	目標値 (平成 34 年度)
<b>農業産出額</b>	<b>349億円</b>	<b>356億円</b>
農林水産省・市町村別農業産出額（推計）において毎年度示される額であり、農畜産物の販売流通体制が充実しているかを測る指標です。本計画策定時点（平成29年12月現在）において発表されている最新の数値が平成27年度のものとなることから、本指標の現状値については平成27年度の値を採用します。		
<b>市外の店舗で深谷産の農畜産物の販売を目的とする機会がある市民の割合</b>	<b>56.2%</b>	<b>57.1%</b>
深谷市民まちづくりアンケートにおいて、「市外の店舗で深谷産の農畜産物の販売を目的とする機会がある」と答えた市民の割合であり、農畜産物の販路が拡大されているかを測る指標です。		

### 現状と課題

#### 【施策を取り巻く社会状況】

食の安全・安心に対する関心や地産地消の意識が全国的に高まっており、消費者の期待に応える形での農畜産物の販売、流通が求められています。

#### 【深谷市の状況】

- 1 関係機関と連携して農薬などの適正利用に関する生産者への周知や、有害物質などに関する情報の公表などを行っています。農畜産物が消費者から継続して支持を得るために、引き続き安全・安心な農畜産物を安定的に供給する必要があります。
- 2 農畜産物は「深谷ねぎ」などの深谷産ブランドが広く消費者に認識されていますが、今後も、関係機関と連携しながら、生産者の意識と技術の向上により市場における差別化を図り、深谷産ブランドをより強固にする必要があります。
- 3 これまでは販売促進イベントの支援などを積極的に推進してきましたが、今後も引き続き農畜産物の売り上げの拡大を目指し、直売所に関する情報を発信することや市民とふれあう機会を通じて、生産者と消費者の距離を近づけることが求められています。

## 取組方針

### 1 農畜産物の安全・安心の向上を目指します

消費者に安全な農畜産物を提供するため、関係機関と連携しながら、生産者に対して農薬や化学肥料の適正な使用を周知するとともに、家畜の防疫に取り組みます。また、残留農薬などの有害物質などに関する情報の公表や、農業用廃資材類の適正な処理を推進し、消費者の信頼性を高める取組を行うとともに、生産者の顔が見える安全・安心な農畜産物の販売、流通を促進します。

#### ■主な事業■

農産物安全安心対策事業、特産物 PR 事業、畜産振興対策事業、園芸用廃プラスチック収集処理事業

### 2 「深谷産」のブランドイメージを高めます

良質な農畜産物が市場において優位性を発揮できるよう、全国有数の生産地としての「深谷」のブランド化を推進します。また、安全・安心な深谷産農畜産物が市外の消費者に広く浸透するよう、各種メディアや農業関連施設などを通じた PR を行います。

#### ■主な事業■

特産物 PR 事業、農産物振興対策事業、深谷グリーンパーク管理運営事業

### 3 農畜産物の販路拡大をします

消費者のニーズにあった農畜産物を提供するため、生産者、関係団体と連携しながら農畜産物の生産、販売、流通を促進するとともに、6次産業化の推進により農畜産物のさらなる付加価値向上を目指します。また、消費者の利便性向上と農畜産物に対する地産地消を推進するため、直売所に関する情報を発信し、市民が農業とふれあうことができる場を提供します。さらに、スーパーなどの店頭販売をはじめ、インターネット通販や契約販売など、さまざまな販売形態に応じた販路拡大を推進します。

#### ■主な事業■

産業間連携支援事業、特産物 PR 事業

## 関連する個別計画

深谷市産業振興計画

## 【まちのイメージ3】 活力とにぎわいにあふれるまち（産業振興）

### 3-2 雇用とにぎわいを生み出すまちづくり

#### 3-2-1 商工業の振興

##### 目指す姿

市内中小企業が安定した経営を行っており、地域の経済を支えています。また、起業・創業した事業者が増加するとともに、市民、商工団体、行政などが連携しながら付加価値の高い製品やサービスを生み出しています。

### まちづくり指標

指標名	現状値 (平成 28 年度)	目標値 (平成 34 年度)
法人市民税額 【プロジェクト3指標】	1, 345, 453千円	1, 400, 000千円
市内の法人市民税額（均等割と法人税割の合計）であり、商工業が振興されているかを測る指標です。		
新たに誘致した企業数(累計)	48社	72社
市内への新たな投資総額が1億円以上となる企業を対象に、工場立地促進事業者指定を行う件数であり、企業の誘致及び留置が行われているかを測る指標です。		

### 現状と課題

#### 【施策を取り巻く社会状況】

全国的に景況感は改善傾向にあり、中小企業の経常利益も高水準にある一方で、売上高の伸び悩みや人手不足、高齢化といった課題が顕在化しています。また、人口減少に伴い国内市場の縮小が進むことが懸念されています。

#### 【深谷市の状況】

- 1 中小企業の経営者や従業員が高齢化し、後継者不足が顕在化しています。また、中小企業は景気変動の影響を受けやすいため、経営基盤を強化し安定的で継続的な事業運営を確保することが求められます。
- 2 小売店舗や商店街に関しては、大型店舗に買い物客が流出しているため、顧客吸引力を高めるサービスを検討する必要があります。また、インターネット販売が活発な現在における店舗のあり方の検討や、情報通信技術（ICT）の活用が求められています。
- 3 急速に変わる社会、市場環境に対応するためには、今後、企業や店舗、大学などさまざまな主体と連携し、アイデアを出し合い、人を引き付ける個性ある商品や商圏をつくることが大切となります。
- 4 多くの事業所が立地していますが、新たな企業の立地や事業の拡大を市内で行うことを要望している事業者も多くあります。今後は、市内の税収確保や地域の経済を活性化させるため、企業誘致のための用地確保や、市内企業の流出を防ぐための取組が求められます。
- 5 地域の経済を活性化させるためには、既存の企業への支援だけでなく、新たに起業を考えている方への支援も大切となります。そのためには、起業したいと考えている人が、その意欲とアイデアを形にし、事業へとつなげられるような支援を行っていくことが求められます。

## 取組方針

### 1 中小企業経営の安定化と成長を支援します

市内の中小企業が安定した経営基盤を備え、事業を継続し、成長していけるよう、経済的支援をはじめ、後継者対策を推進します。また、近年活性化しているインターネット販売に市内事業者が対応できるよう、必要な支援を行います。

■主な事業■

中小企業融資あっせん事業、中小企業経営安定化支援事業

### 2 商店街のにぎわいづくりを支援します

人を引き付ける商店街に生まれ変わろうとする意欲的な小売店舗や商店街への支援を行います。また、空き店舗、空き地の利活用を進めるとともに、地域資源を生かして、人々が集い楽しめる商店街の形成を図ります。

■主な事業■

中心市街地及び商店街活性化推進事業

### 3 商工業の活性化を支援します

郷土の偉人渋沢栄一の「論語と算盤」の考え方の普及・啓発を進めるとともに、事業者の意識の向上と事業活動への活用を促進します。また、市内産業の製品やサービスなどの高付加価値化を支援し、イベントの開催や交流の場の提供を推進します。

■主な事業■

商工業活性化支援事業

### 4 企業誘致・留置に取り組みます

花園インターチェンジや（仮称）寄居PAスマートインターチェンジ及び都市幹線道路の交通利便の優位性を生かした、企業立地を促進します。また、既存の市内事業者に対し、拠点を本市に留めてもらえるよう支援を行います。

■主な事業■

企業誘致及び立地促進事業、市内企業満足度向上対策事業、企業立地関連促進事務

### 5 起業しやすい環境づくりに取り組みます

商工団体、金融機関などと連携しながら、起業を希望する方に必要な情報やノウハウを提供し、事業開始時の負担を軽減するとともに、起業後の事業定着に向けた取組を支援します。

■主な事業■

起業家支援事業

## 関連する個別計画

深谷市産業振興計画

3-2 雇用とにぎわいを生み出すまちづくり

3-2-2 観光資源の整備と活用

目指す姿

地域資源の魅力を発揮した観光戦略が推進されることで、本市の認知度が高まり、観光客が増加しています。また、市民と来訪者との間での交流が深まり、まちに新たな活気が生まれています。

まちづくり指標

指標名	現状値 (平成 28 年度)	目標値 (平成 34 年度)
市内観光入込客数 【プロジェクト3指標】	3, 923, 586人	4, 418, 000人
埼玉県が実施する観光入込客数調査において把握する数値であり、観光資源の整備と活用が行われているかを測る指標です。		
年間延べ宿泊者数	94, 567人	106, 000人
観光予報プラットフォームにおいて把握する市内年間延べ宿泊者数であり、観光資源の整備と活用が行われているかを測る指標です。		

現状と課題

【施策を取り巻く社会状況】

近年の訪日外国人観光客の増加を受けて、国は平成 32（2020）年の訪日外国人観光客数の目標を倍増させ、4,000 万人としました。観光による交流人口の増加を図り、地方創生を実現しようとする動きが活発になっています。

【深谷市の状況】

- 観光客数は年々増加しており、市内の観光スポットや3カ所ある道の駅は多くの観光客でにぎわっています。この好機を逃さないよう、深谷ねぎや煮ぼうとう、渋沢栄一の生誕地やホフマン輪窯など多くの地域資源を観光資源化し、本市の認知度をさらに高める必要があります。
- 観光客を増加させるためには、他地域との差別化を図ることが大切です。地域に定着した観光プログラムとして「深谷えん旅」を実施しています。老舗の生業を見学したり、職人の技を体験したりできるなど好評を得ており、今後も来訪者が楽しみ、また来たいと思えるような企画や空間をつくる工夫を継続する必要があります。
- 花園インターチェンジの立地を生かす、アウトレットモールを核とした観光型集客施設を整備する「花園インターチェンジ拠点整備プロジェクト」を推進しています。市内観光拠点のネットワーク化を図り、市外・県外からのアウトレットモール来訪者に本市の魅力を伝えるとともに、市内産業の活性化をはじめ、市内に足を運んでもらう仕組みづくりが求められています。



## 取組方針

### 1 「ふかや」の魅力を発信します

「ふかや」の魅力を戦略的に発信するため、本市の観光資源を「ふかやブランド」として認定し、マスコミなどの多様な媒体を活用し、効果的な情報発信を行います。さらに、観光客のアクセス拠点である花園インターチェンジ周辺エリア及び JR 深谷駅、各道の駅を観光情報の発信拠点として活用し、関係機関と連携して、多言語化など観光情報への多様なニーズに対応します。

■主な事業■

ふかやブランド推進事業、道の駅管理事業

### 2 来訪者が楽しめる空間づくりに取り組みます

市内を訪れる方に深谷の魅力を最大限に堪能してもらえるように、観光施設の充実や観光資源を活用した体験型イベントプログラムの充実を図ります。また、観光客が市民やその活動に触れ交流を深める中で、本市の新たな魅力を発見できるような場や機会を提供します。

■主な事業■

観光振興事業

### 3 観光資源のネットワーク化に取り組みます

観光客の利便性の向上を図るため、観光アクセス拠点と観光施設とのネットワーク化を促進します。また、市内産業をテーマとしたイベントや体験型事業などの実施により、農商工団体と連携した市内産業活性化を図ります。さらに、新たな商業スポットとなるアウトレットモールなどの集客力を生かし、農業・観光・商工の情報発信及び活動の拠点づくりを行うとともに、観光資源やイベントなどを周遊する観光ルートを設定し、市内への観光や消費行動につなげる取組を推進します。

■主な事業■

物産振興事業、道の駅管理事業、産業立地関連促進事務

## 関連する個別計画

深谷市産業振興計画

## 【まちのイメージ3】 活力とにぎわいにあふれるまち（産業振興）

### 3-2 雇用とにぎわいを生み出すまちづくり

#### 3-2-3 就労環境の整備

##### 目指す姿

就労意欲のある人が働く機会を得られ、市内の雇用が安定しています。また、市内労働者の労働環境が向上し、仕事と生活に調和が取れ、安定した生活を送っています。

### まちづくり指標

指標名	現状値 (平成 28 年度)	目標値 (平成 34 年度)
有効求人倍率	1.08%	1.38%
熊谷公共職業安定所管内における有効求職者数に対する有効求人数の割合であり、意欲がある人が働くことのできる環境が整っているかを測る指標です。		
仕事と生活のバランスが取れている市民の割合	62.7%	68.7%
深谷市民まちづくりアンケートにおいて、「休暇の取得状況や家族と過ごす時間の確保などは十分で、自身または家族の仕事と生活のバランスは取れている」と答えた市民の割合であり、就労環境が整っているかを測る指標です。		

### 現状と課題

#### 【施策を取り巻く社会状況】

人口減少社会を迎え、企業を支える労働者の減少が危惧され、国においては、女性や高齢者の就労機会の確保に向けた施策が展開されています。また、就職後、職場に定着することなく、離職することも多くなっており、多くの自治体で就業の定着に向けた取組が進められています。

#### 【深谷市の状況】

- 1 市内企業への就労を促進するため、関係機関と連携しながら、深谷市ふるさとハローワークの設置、就職相談や就職支援セミナーの開催など、就労を希望する市民の就労実現に向けた支援を行ってきました。今後も引き続き、市民の就労実現に向けた支援を行うとともに、企業や関係団体などと連携を図りながら、市内企業の魅力の発信と就業の定着に向け、各企業における事業の方向性や求める人材像などについて、企業と対話できる機会の確保が必要です。
- 2 仕事と生活の両立の問題により将来への不安を感じ、就労を断念することもあるため、仕事と生活の調和が取れた状況を創出するとともに、労働者の福利厚生維持向上など、労働環境の改善に向けた支援がこれまで以上に必要となっています。

## 取組方針

### 1 意欲ある人が働くことのできる環境を整えます

ハローワークなどの関係機関と連携しながら、老若男女を問わず、全ての求職者に対する就業に向けた情報や相談の場などを提供します。また、市内企業の情報提供や人材のマッチング支援、交流機会の提供などにより、市内企業への就労の定着を図ります。

■主な事業■  
就業支援事業

### 2 安心して働くことのできる環境づくりを支援します

労働者が安心して働くことのできる環境を整えるため、県や労働関係機関と連携しながら、中小企業における福利厚生事業の充実など、必要な支援を行います。また、老若男女を問わず、誰もが多様な働き方ができるよう、情報提供や意識啓発などにより、働きやすい環境づくりを促進します。

■主な事業■  
勤労者福祉向上支援事業、シルバー人材センター補助事業

## 関連する個別計画

深谷市産業振興計画